



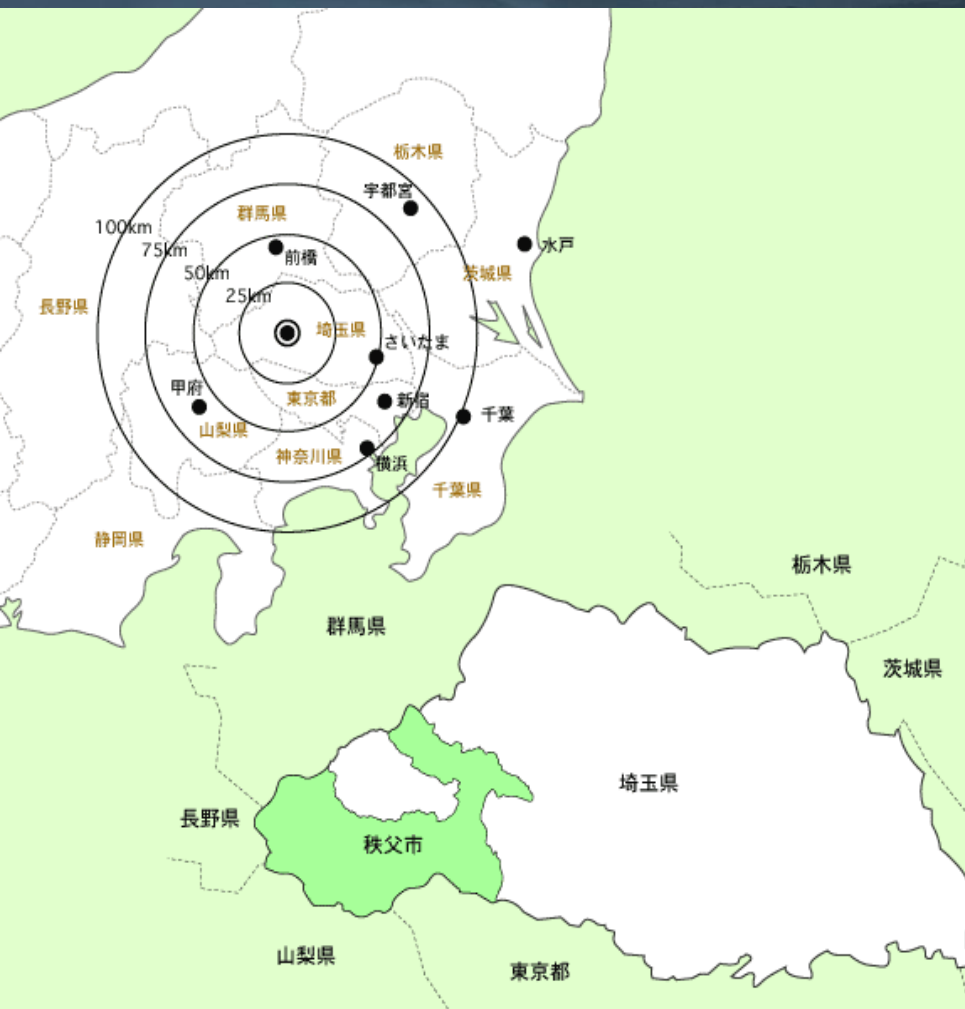
荒川流域圏構想と流域連携について

～水源のまちからつながりなおす～

埼玉県 秩父市長 清野 和彦



秩父市の紹介



基礎データ

- ・人口 **56,067人** (R8/3/1現在)
- ・面積 **578km²**
(埼玉県全体の約15%)
- ・森林率 **87%**
(埼玉県全体の約42%)
- ・森林面積 **503km²**

秩父市の特徴

- ・ 荒川の源流
- ・ 市内に 4つのダム
- ・ 4つの都県に隣接
(東京都/山梨県/長野県/群馬県)
- ・ 荒川によって形成された谷地形
- ・ 市域のほとんどが 秩父多摩甲斐国立公園 や 県立自然公園
- ・ 主な産業は精密機械工業、観光業 ²

東京からのアクセス

【電車】池袋駅から西武鉄道特急で最速77分

【自動車】関越道花園I.C経由で都心から2時間弱



- ・人口減少、森林の荒廃、野生鳥獣の対応など
現在の地方都市の問題は、一つの自治体だけでは解決できない
- ・社会を捉えるための新たな物差しが必要



- ・もともと繋がっている「**流域**」に焦点を当て
つながり直すことで、しなやかな新たな社会をつくる
- ・流域で繋がる人々のためにも流域の中で役割を果たすことで
私たちが生かす道となる



秩父のでっかい夢を実現するマニフェスト ver.1.0



政策の説明動画などは公式LINEで配信します。
 ◀ マニフェストは皆さまの声をお聞きし、バージョンアップしていきます!

リーダーシップある秩父へ 荒川・流域圏構想 3つのサイクル

荒川の源流の秩父市がリーダーシップを取り、首都圏を含む79自治体と協力し、流域人口930万人のため、流域治水や地域循環共生圏を推進し、秩父市を発展させます。



1

経済政策

「より豊かなちちぶへ」

- 訪日外国人旅行者を含む**観光入込客数を2倍に**
- 秩父夜祭などの祭礼行事を**荒川流域全体の祭り**として位置づけ
- 流域の森林環境譲与税の活用・ソサエティ5.0の推進

2

人口政策

「より存在感のあるちちぶへ」

- 「荒川の源流の自治体」としてブランド化・SNS等での広報を強化
- **関係人口を創出・移住定住を実現**
- 探求学習を推進・教育連携・教育移住を促進

3

安全保障政策

「命と財産を守りきるために連携するちちぶへ」

- 自治体首長の「顔と顔の見える関係」・災害の未然防止や広域避難の実現
- **再生可能エネルギーで電力自給率100%・非常時でも停電にならない地域**
- 首都東京をはじめとする関東地域の防災拠点

経済政策・人口政策・

安全保障政策を連動させ、
 秩父市に好循環を創り出します!
 山間地域に誇りと元気を
 取り戻します!



ちちぶ新時代 3本の矢 秩父市+ちちぶ広域行政の発展

1

医療・教育満足度2倍!
**医療・福祉・教育の
 充実**

- ① セメント跡地等への**広域病院**の建設と地域連携の推進。価値の高い病院を実現。県や国からの**強い支援**を取り付け、がんや認知症が早期発見できるPET-CTの導入を検討する・ヘリポートを完備・秩父の木材を用いた建築・**バスターミナルを併設**・再エネによる電気バスを導入・秩父郡医師会、歯科医師会、薬剤師会との**さらなる連携強化**で地域医療を守る。
- ② 子どもの遊び場の充実
- ③ 地域ぐるみの教育で子どもたちと先生を応援



2

無駄削減で輝く!
**経済とインフラの
 整備**

- ① インフラの整備で経済の活性化・無駄の削減
- ② 秩父イノベーション推進・中小企業や第一次産業への多様な支援
- ③ **道の駅のリニューアル**と拡充



3

安心の先進都市へ!
**市民と将来に
 開かれた市政**

- ① タウンミーティング(**地域・テーマ別**)の開催
- ② Z世代の声を市政に反映・公募制の若者議会会で事業決定
- ③ 快適な市役所利用のためデジタル技術の導入



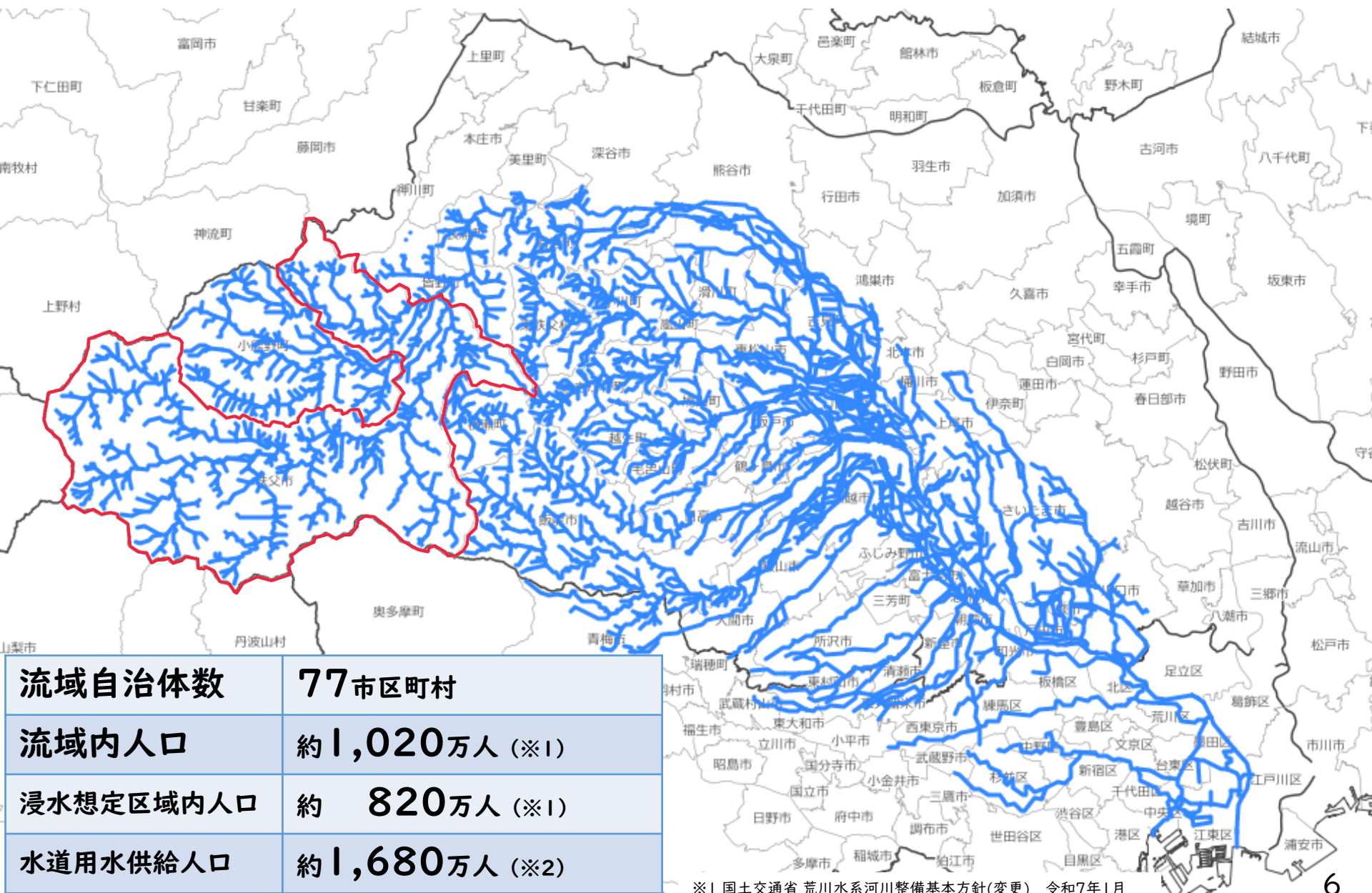
そのほかにも政策色々

- 女性の生きやすい社会づくり
- 高齢者福祉の充実 (福祉避難所の拡充・認知症予防の推進・100歳祝いの拡充)
- 地域公共交通の確立 (広域での計画策定・ライドシェア)
- 障がい者支援の推進 (移動支援事業の拡充・医療的ケア児も利用可能な放後等デイサービスの開設)
- 予防医療の拠点・保健センターを新病院との合築でリニューアル
- 健康に配慮した給食の推進 (オーガニック給食・地産地消・食育の推進など)
- ランドセル補助金を入学祝金に戻す
- 旧町村の支所で市長が定期的に執務
- ミュースパークの再開発
- ふるさと納税拡大に向けた仕組みづくり
- 医療機関の空白地域への対策強化
- 病中・病後児保育事業の実施

3月から4月にかけて、
 皆さんの地域の集いで、
 内容のご相談に参ります。
 皆さんの夢をお聞かせし、
 ささぐりで、**でっかい夢も**
 つくりまします。

ほか、約100本の政策を地域の声聞きながら最終調整中!
 続きはLINEやHPで!

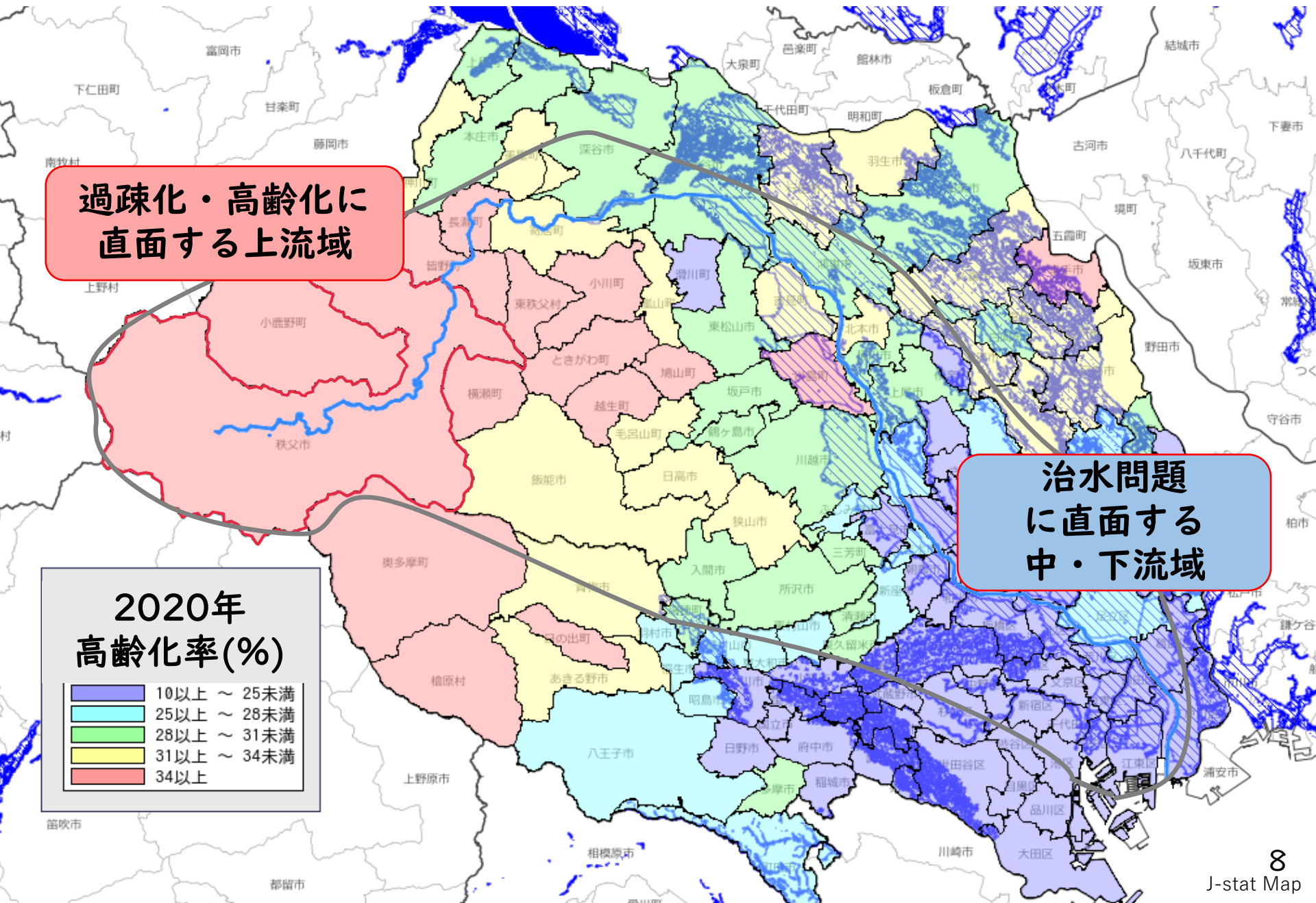
荒川流域の自治体



流域自治体数	77市区町村
流域内人口	約1,020万人(※1)
浸水想定区域内人口	約820万人(※1)
水道用水供給人口	約1,680万人(※2)

※1 国土交通省 荒川水系河川整備基本方針(変更) 令和7年1月
※2 荒川上流河川事務所HP

荒川流域自治体の高齢化率＋浸水想定区域



過疎化・高齢化に
直面する上流域

治水問題
に直面する
中・下流域

2020年
高齢化率(%)

10以上 ~ 25未満
25以上 ~ 28未満
28以上 ~ 31未満
31以上 ~ 34未満
34以上



秩父市が推進する「荒川流域圏構想」

経済・環境・防災の課題解決と発展を目指し
流域全体の協働で「持続可能な社会」を目指すプロジェクト



上流域

荒川を通じた治水効果

木材/産品/電力/環境価値を提供



課題 気候変動による
災害激甚化リスク
自然に触れる機会減少

中流・
下流域



課題 少子高齢化、過疎化
放置山林の増加
人口流出・産業停滞

森林整備・保全への協力

水源域への関心/観光交流/広域避難

上流域(山間域)に
誇りと元気を!

中・下流域に
安全と癒しを!

⇒ **流域全体のWell-being向上を目指す**



実は江戸時代から続く、荒川流域の上下流交流

秩父

荒川を利用した木材供給
用水供給・治水効果

いかだ流し

江戸

ヒノキ等の苗

寺社参拝/札所巡礼
苗木寄付



三峯神社



参道に残る苗木寄付の石碑

【一例】

- ・老中 松平定信：大滝に**ヒノキ苗を10万本寄付** (1)
- ・午歳総開帳時には**秩父札所巡礼に約5万人来訪**(当時の江戸の人口約100万人) (2)
- ・三峯神社には、ヒノキ苗の寄付に関する石碑が多く残る

(1)大滝村誌

(2)佐藤久光.復興期の秩父札所.神戸常磐短期大学紀要.2003,25,p.71



下流域との連携例① 東京都豊島区

1. 「としまの森」の整備・活用



2. 豊島区内での秩父産木材や秩父産再エネ電力の活用

としま区民センターでの木材利用
(2021年ウッドデザイン賞)



雑司ヶ谷公園丘の上テラスでの木材利用



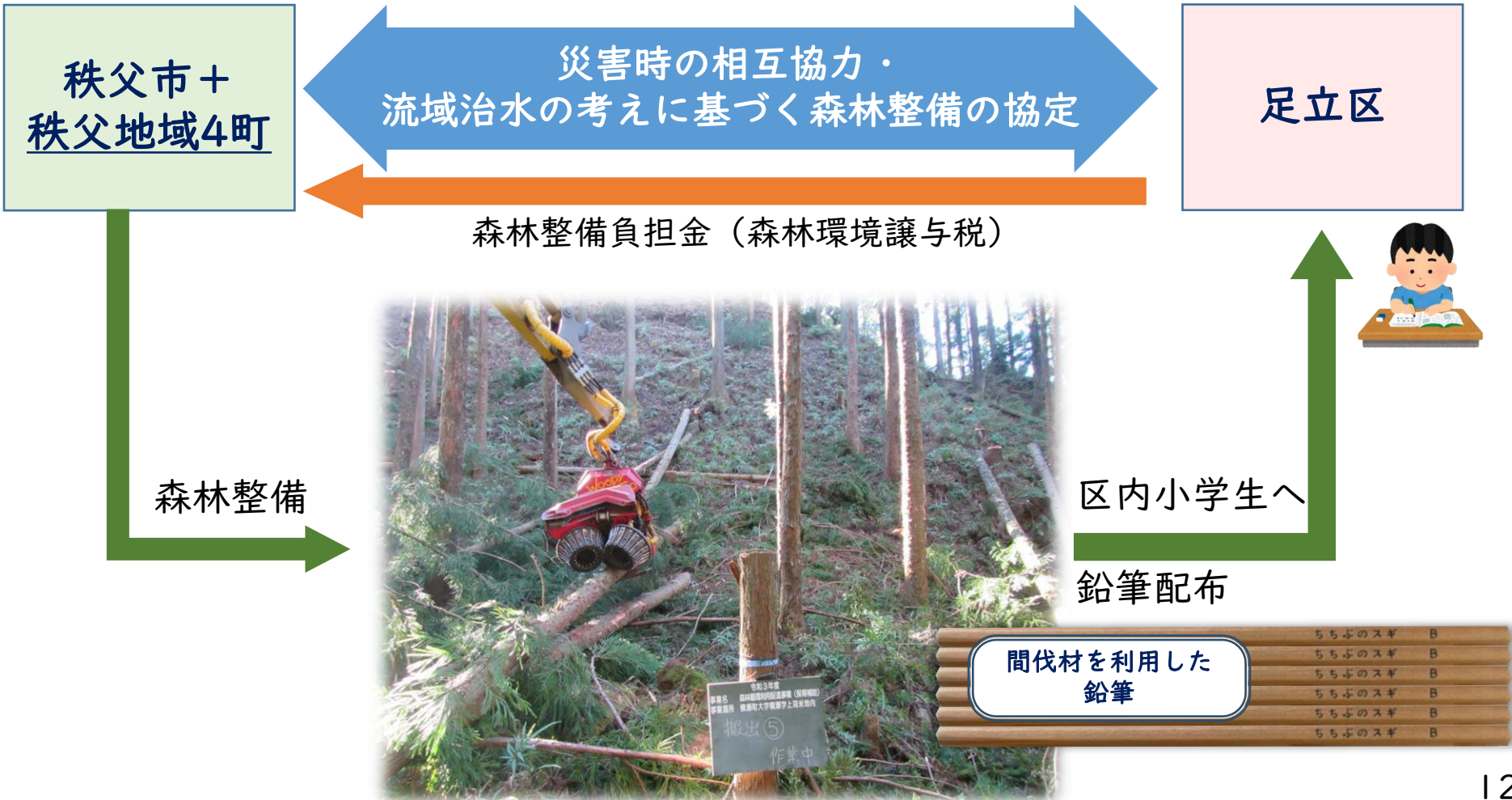
区立保育園等での秩父産再エネ電力利用





下流域との連携例② 東京都足立区

- ・ 足立区と秩父地域の1市4町が連携し、防災・治水協定を締結。
- ・ 流域治水の考えに基づき森林整備、間伐材を利用した鉛筆を足立区の小学生へ配布
- ・ 協定締結：令和6年10月12日



整備イメージ



水害に強いだけではない、安全なまち秩父

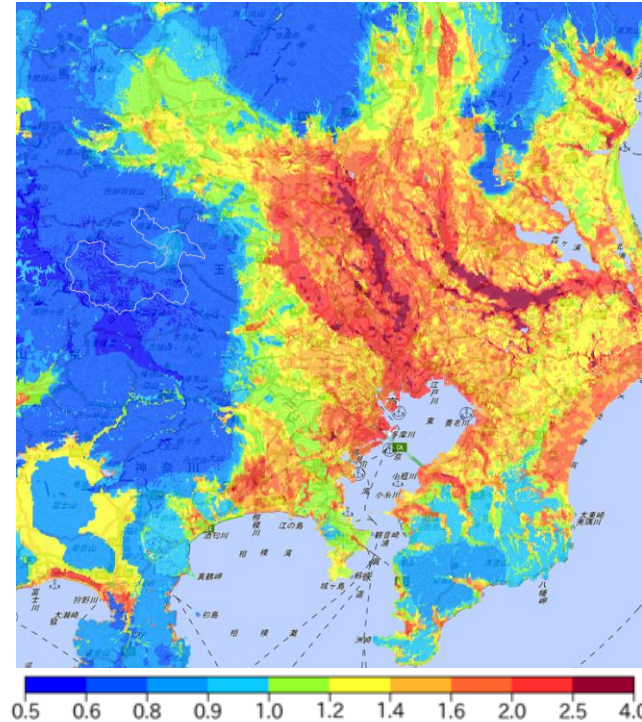
★固い地盤

地震による揺れの回数比較（2000年1月～2025年9月30日）

	東京都 千代田区	千葉県 印西市	埼玉県 熊谷市	秩父市
震度5強以上	1	1	1	0
震度5弱	1	1	1	1
震度4	20	28	21	0
震度3	123	168	129	28

出典：気象庁「震度データベース検索」

関東周辺の地震による表層地盤増幅率



※表層地盤増幅率は、地震波が工学的基盤上から地表に伝わる際における、速度波形の最大振幅（最大速度）の増幅度を指します。一般的に、地震波は、震源から地表まで伝播する間に地下構造の影響を受け、増幅されます。増幅率が1.2%と2.4%の場所では、最大振幅値が2倍あると考えられます。

出典：J-SHIS Map「地震ハザードステーション」

★エネルギー産出能力

再生可能エネルギー自給率

秩父市 **85.2%**

(埼玉県平均：10.8%)

出典：千葉大学倉阪研究室・NPO法人環境エネルギー政策研究所「永続地帯2023年度版報告書」

綺麗な水とクリーンな電気を生み、固い地盤の秩父が

中下流域から求められる防災機能を果たす

平常時からの顔の見える関係づくり



荒川上流（秩父市）



祭り



インフラツーリズム



環境教育



アニメツーリズム
©ANOHANA PROJECT



歴史文化(札所や神社他)



農業体験

様々な魅力ある
交流を通じ

下流域住民



広域避難と言われても
土地勘ないし、

広域避難先は秩父市か。
いつも行ってるよ。OK!



関係人口化

普段の交流や観光が災害時のスムーズな避難につながる



河川利用の新時代に向けて

- ・ 令和7年3月25日 秩父地域の送電線網150kmが「ドローン航路」に国内初(世界初)認定
- ・ 今後、河川もドローン航路として活用を検討
- ・ 地元企業・大手企業・大学・研究機関など産官学金民のコンソーシアム(連携団体)で社会実装を推進。参加団体を募集中。

▼メディアにも複数取り上げ



— 送電線
— 河川

※網掛けは消滅可能性都市



秩父市ドローン
社会実装コンソーシアム

Chichibu Drone Social Implementation Consortium

(現在90団体で構成)



秩父川瀬祭（神輿洗い・お水取り）

他にも

- ・神明社川瀬神幸祭と笠鉾行事
- ・柳田の千垢離 など

荒川流域圏構想、始動しています！



2/17 グリーンインフラと流域連携に関する勉強会



下流域の自治体をメインターゲットとした勉強会を主催し、秩父の森のグリーンインフラとしての活用や流域連携について、講演・パネルディスカッションを行いました
(国土交通省 先導的グリーンインフラ形成支援事業)

2/18 荒川流域を守るための意見交換会



流域をどう守るかについて、秩父郡市の首長、国土交通省の荒川流域を管理する関係機関の所長、秩父に所在する埼玉県各機関の所長と意見交換し上流域が一体となって協力することを確認しました

2/19 全国源流サミットでの講演



全国から集まった源流域の首長に対し荒川流域圏構想について講演しました

2/28 いのちをつなぐ水と流域・地球市民フォーラム2026 in Aichiでの講演



東京湾、伊勢・三河湾、大阪湾・玄界灘など、全国の流域圏の事例発表において荒川流域圏構想について講演しました

1/13 広域自治体連携ミーティング



荒川上流・下流、利根川上流の首長と流域での防災連携等について情報共有・意見交換を行いました



ちちぶの森の



木になる紙

使って守ろう 荒川・水源の森

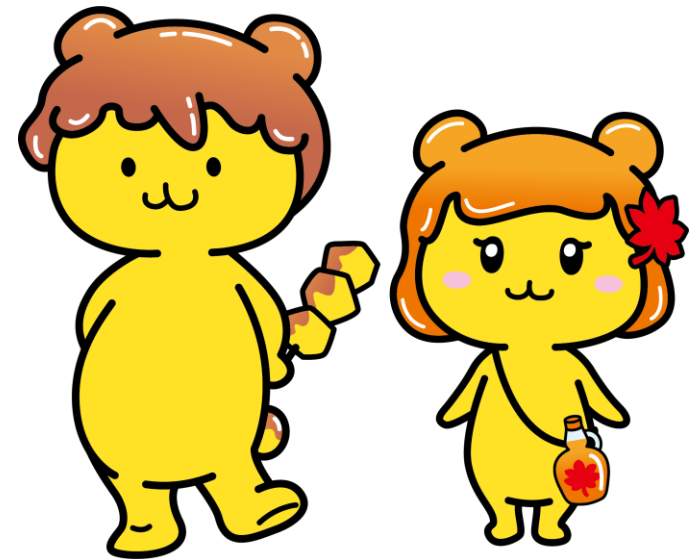
Paper to save the forest



- ・ 秩父地域産の間伐材を30%使用
- ・ 1箱で森林面積20㎡の間伐実施量に相当し
1,025gのカーボンオフセットが適用可能
- ・ グリーン購入適合品(プレミアム基準)
- ・ 収益の一部を森林所有者に還元し、森林保全に寄与
- ・ 森林環境譲与税を活用可能
- ・ 秩父市は市内のコピー用紙に採用を予定しており
一般財源を節約



ご清聴ありがとうございました



継父市イメージキャラクター

ポテくまんと ぶめるちゃん